

学力向上に向けた取組

函館市立五稜中学校

1 課題

基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着

自ら考え表現できる生徒の育成（平成21年度 本校の重点教育目標）

2 課題解決の具体策

TT，少人数指導体制の工夫・改善

1分間スピーチ発表

3 取組の概要

について

数学・英語についてTT（ティームティ・チング）を導入し，生徒個々に応じた指導を通して，授業での理解を助け，興味・関心を高め学習意欲の喚起へとつなげる。

各学年〔習熟度別選択 数学〕の授業を行う。各单元ごとにテストを行い，習熟度別クラスをその都度編成し直す。1・3年生は2クラスを5コースに，2年生は2クラスを6コースに細分化し少人数指導を行う。

について

朝の会で1分間の発表を行う。

目的：クラス全員の前で発表することにより，発表力の向上を図る。

相手に伝わる発表の内容を考えることにより，文章構成力の向上を図る。

活動方法：学級で順番を決め，毎日交代で行う。

前日までスピーチ原稿を書かせ，担任がチェックする。

発表内容：社会のニュース，スポーツ，学級の出来事，学校行事や地域行事，家庭での出来事について，自分の言葉で発表する。

出来事だけを述べるのではなく，自分の考えや感想を添える。

4 成果と課題

TT指導や習熟度別選択数学の授業で，個に応じた指導を行い「わかることの楽しさ」を経験させることで学習意欲を高め，基礎・基本の力がついてきている。積極的に自分の考えを発表する生徒が少ないので，各教科の授業においても【自分の考えを表現する場面】を意識的に設定し慣れさせ，自信をつけさせていく。